

2015年2月11日  
株式会社日立製作所

## 米国日立データシステムズ社がペンタホ社を買収

多種多様な業種に共通的に利用できるビッグデータ利活用基盤を新たに構築し、  
社会イノベーション事業のグローバル展開を加速

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)の米国子会社である Hitachi Data Systems Corporation(本社:米国カリフォルニア州サンタクララ市、CEO:Jack Domme(ジャックドメ)/以下、日立データシステムズ社)は、このたび、ビッグデータアナリティクスソフトウェアを開発、提供する Pentaho Corporation(本社:米国フロリダ州オーランド市、CEO:Quentin Gallivan(クエンティンギャリバン)/以下、ペンタホ社)を買収することで、同社と合意しました。両社は今後、本契約に基づき、2015年6月末までの買収完了に向けた手続きを進めます。

無線通信、制御技術などの発展に伴い、あらゆるモノがインターネットで接続される IoT(Internet of Things)が広がると同時に、社会や企業が保有するデータは増加かつ多様化しています。これに伴い、データをリアルタイムに分析し、サービスの向上や新規ビジネスの早期立ち上げにつなげるビッグデータ利活用のニーズが急速に拡大しています。

ペンタホ社は、業界有数のハードウェアベンダやシステムインテグレータを含む強固なパートナー基盤を有すると同時に、世界 180 カ国以上に 1,200 を超える顧客基盤を持つ、ビッグデータアナリティクス分野のリーディングカンパニーです。ペンタホ社は、高度なデータ統合、分析、可視化技術を持ち、それらの機能を統合して提供することでビッグデータ利活用基盤の迅速かつ柔軟な構築を実現しています。同社の開発するビッグデータアナリティクスソフトウェアは、多種多様なデータに対応し、さまざまな業務システム、アプリケーションのデータを統合して多角的に分析、可視化することが可能です。

一方、日立は、社会や企業が抱える課題、ニーズをプロダクト、サービス、IT を組み合わせ解決する社会イノベーション事業をグローバルに推進しています。社会や企業が抱える課題、ニーズを解決する上で、IoT やビッグデータ利活用の重要性が高まっており、日立は、上流のコンサルティングを起点としたトータルソリューションの提案から、グローバルに約 100 以上の国と地域に拠点を有する日立データシステムズ社を中核とした IT プラットフォームやクラウドサービスの提供まで、ビッグデータ利活用におけるグローバルバリューチェーンの強化、拡大を図っています。

日立は、本買収により、ペンタホ社の先進的なビッグデータアナリティクスソフトウェアと技術・ノウハウを獲得し、日立の高信頼、高性能な IT プラットフォームやデータ管理技術などと連携させることで、多種多様な業種が共通的に利用できる新たなビッグデータ利活用基盤を構築します。この基盤を活用し、日立グループが展開するエネルギーや交通、ヘルスケアなどのインフラシステムと組み合わせた新たなサービスを開発するとともに、グローバルなコンサルティングネットワークなども活用し、社会イノベーション事業のグローバル展開を加速していきます。

#### ■ 日立データシステムズ社について

本社	米国カリフォルニア州サンタクララ市
代表	CEO: Jack Domme (ジャック ドメ)
拠点	米州や欧州、アジアをはじめとする全世界 100 以上の国と地域
従業員数	約 6,500 人
事業内容	IT プラットフォーム、ソリューション事業
ウェブサイト(英文)	<a href="http://www.hds.com">http://www.hds.com</a>

#### ■ ペンタホ社について

本社	米国フロリダ州オーランド市
代表	CEO: Quentin Gallivan (クエンティン ギャリバン)
拠点	米国、英国、ドイツ、オランダ、ポルトガル他
従業員数	約 300 人
事業内容	データ統合、分析/可視化などビッグデータアナリティクス関連ソフトウェアの 開発、販売、サポート
ウェブサイト(英文)	<a href="http://www.pentaho.com">http://www.pentaho.com</a>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---